

2023年度 メリー★ポピンズ 和光ルーム事業報告書 (保育所における自己評価)

I. 2023年度の概要 ～年度の基本方針を受けて～

法人の基本方針「にんげん力。育てます」をもとに、和光ルームとしての園目標達成に向けて、「子どもを真ん中にした子育て」「子どもの育ちを見届ける」ことを実践してきた。

子どもたちの育ちを見つめ、思いを感じ、言葉と気持ち、行動に寄り添いながら保育をする中で、子どもたちが気持ちを目いっぱい発することができ様々な心模様になり、また新たな発信ができることを繰り返すことができた。

その経験から大切にされる存在、愛される存在であると感じ、自分を好きになる。そして今後の成長の中での自己肯定感が持てる人格形成の第一歩となるように願い努めてきました。

毎日の様子を、保護者と共有しながら個々の成長に共に喜び、悩み、探りながら共に成長できるような信頼関係づくりにも努めた。

また、地域交流として商店街ツアーに行き、それぞれの施設や店の方と子どもたちの関わりを大切に育み、継続、定期的に交流させていただく事でより深いつながりを持つことができた。

初めての試みとなるどろんこ祭りでは、沢山の地域の方に来園していただき、「地域の子育ての場」となる第一歩とすることができた。

今後も、変わりつつある日々の中で、機会を排除しすぎず、個々の育ちを保証していくための大人の生きる力、さらなる保育の質の向上に努めていきたい。

〈I〉 保育内容の充実・質の向上

1	計画・ねらい	日々の体験を大切にし、心身ともに充実した一日を過ごす。
	実践結果	・法人の日課でもある畑仕事、リズム遊び、座禅、雑巾がけ、長距離散歩につながる戸外活動を重ねていくことで、健康なところと身体づくりに努めた。
	次年度方向性	・引き続き日課の積み重ねを行う。 ・保育者として活動の理解、知識を深め、さらに子どもたちが自ら参加したくなるような環境づくりに努める。
2	計画・ねらい	子どもの姿をとらえた保育計画。
	実践結果	・個々の育ちを見極め、必要な経験、課題を保育の計画に入れ込む意識を高めていくよう努めた。また、偏りのないように子どもの姿を職員間で共有できる場を大切に重ねていった。
	次年度方向性	育ちの見通しを持つことの学びをここで重ねていったので、次年度は共通認識できるように職員間での学びの時間をもつ。
3	計画・ねらい	必要に応じた丁寧な保育。

	実践結果	・それぞれの子どもが発達の最近接領域に取り組むことができるように見守り、手や口を出しすぎない見守る保育が展開できるように努めた。
	次年度方向性	・保育者の認識の差があることから、関わる大人によっての見守り方、補助の仕方に差を感じた。そのことをフォローしあうことのできる職員集団となる。

〈2〉 保育所を利用する子どもの保護者への支援

1	計画・ねらい	心のこもった保護者対応。
	実践結果	タイムライン、連絡帳、お迎え3分間対応を丁寧に行いながら、保護者の方との関係性を大切にしていた。
	次年度方向性	お迎え対応等で、保護者の気持ちに寄り添いながら負担にならないタイミングで会話を重ね、成長を共に喜びともに悩む関係をさらに築いていく。
2	計画・ねらい	子どもたちの成長の共有を図る。
	実践結果	・日常の活動や経験を伝えるドキュメンテーションを作成し、行事や、お迎え時の待ち時間等に見ることができるようにした。写真だけでは伝わらないエピソードや成長の見通しを記載することで共有に努めた。
	次年度方向性	引き続きドキュメンテーションやタイムラインを通して、活動はもちろん、成長の見通しを伝える。

〈3〉 地域の子育て支援事業

1	計画・ねらい	地域とつながる。
	実践結果	・子育て支援「ちきんえっぐ」、青空保育、気まぐれ掲示板、商店街ツアーのほか、どろんこ祭りの開催を行う。より幅の広い世代の方が参加、来園してくださり、知っていただくきっかけとなった。
	次年度方向性	和光ルームが地域の子育ての場となるよう、引き続き気軽に来園できるイベントを発信、実践していく。
2	計画・ねらい	居心地の良い空間づくり。
	実践結果	・明るく衛生的な空間を保てるように努めた。また、プロの保育者としての専門知識、子育て経験豊富な保育者が対応することで安心して話ができる場となるよう努めた。
	次年度方向性	・衛生面、清掃面での工夫、仕組みづくりを今後の課題とする。保育者として専門知識を伝える、コミュニケーション力の向上に努める。

〈4〉 次世代を担うスタッフ育成

1	計画・ねらい	危機管理の意識の向上。
	実践結果	ハザードマップの更新を常に意識しながら安全確認、危機管理を意識できるように努めた。また、職員が担当制で事故防止委員会を計画することで今まで以上に意識が高まった。

	次年度方向性	園内研修や事故防止委員会の中での振り返りや再発防止を重ね、子どもの育ちを見通した上での危険予測の力をさらに高めていく。
2	計画・ねらい	子どもの発達から活動計画や環境を整える力をつける。
	実践結果	発達の学び、理解を深めながら子どもの興味関心に沿った環境を整えるように努めた。
	次年度方向性	個々の育ちはもちろん、子ども、大人の動線を意識した環境づくりを行うことで、さらなる活動の幅、育ちにつなげていく。
3	計画・ねらい	コミュニケーション力の強化。
	実践結果	お互いに気づいたことを言い合う関係を築き、風通しの良い人間関作りに努めた。
	次年度方向性	指導準備時間、環境設定時間等をシフトコントロールしていくことで、仕事に向かうストレスの軽減を図る。一人ひとりのモチベーションをあげることがコミュニケーション力向上にきっかけにつながる。

〈5〉環境実施目標

1	計画・ねらい	食の循環、食材に触れ興味をもつ。
	実践結果	畑仕事や食育活動を通し食材に触れる機会をもった。給食の残渣の把握を行い、無駄のない食材利用に努めた。
	次年度方向性	食するもの、残渣となるものなど、大人がその量を計測し知ることができたので、給食食材発注の目安を見直す。食材のその行方を子どもたちと追いつながら、環境問題を知る機会を設けていく。
2	計画・ねらい	環境への意識を身につける。
	実践結果	身近にある水、トイレトペーパー、紙などを大切に使う、資源に終わりがあることを伝え、まずは大人が意識し無駄のないように努めた。
	次年度方向性	子どもたちに理解ができるように水の誕生、紙のできるまで、その行方まで具体的に可視化しながらさらに、環境の知識につながるようにする。
3	計画・ねらい	畑活動を五感で体験する。
	実践結果	土づくり、泥遊びを通し身体の免疫力を高め、土の変化に触れる感触、畑でできた野菜の匂い、食感、彩など経験を重ねた。
	次年度方向性	土の肥料作りなどを、残食等を再利用して行うコンポスト、野菜くず等の有効利用を行っていく。

〈6〉本物に触れる

1	計画・ねらい	日本古来の伝統行事を知る。
	実践結果	季節を感じ、それぞれの行事の習わしを可視化した資料や紙芝居、絵本を通して知り、実際にひな人形、祭り、豆まきなどを行った。
	次年度方向性	引き続き、日本の伝統文化をまずは保育者が学び、残すべき伝統をつないでいくことができるようにしていく。

2	計画・ねらい	季節を知る。
	実践結果	9時出発の戸外活動を通して、朝日のまぶしさ、季節の空気、花、草木、生き物、霜柱など季節の移り変わりを五感で感じる事ができた。
	次年度方向性	9時出発を大切に重ねながら、こころと身体の健康につなげ、季節で発見したものを記録にしながら子どもたちと振り返る機会を設ける。
3	計画・ねらい	食に触れる。
	実践結果	畑活動、食育活動を重ねていった。野菜からあふれるみずみずしさや、切り身ではない魚の解体など五感で感じる活動を行った。
	次年度方向性	引き続き食につながる活動を行い五感で感じ、食を大切に思うことのできる活動につなげていく。

2. 施設運営

〈1〉 児童利用状況

月極利用児童受託状況（延べ人数）

	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	合計
年度前半： 4~9月	6人	6人	7人	0人	0人	0人	19人
年度後半： 10~3月	6人	6人	7人	0人	0人	0人	19人

延長保育利用状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
利用総 人数	38 人	32人	44人	39人	36人	24人	22人	25人	17人	22人	47人	20人	356人
うち0 歳児	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	1人	1人	1人	3人

（解説）18時以降の利用人数とする。

一時保育利用状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
利用総 人数	0人	0人	2人	1人	0人	3人	10人	0人	1人	0人	0人	0人	17人
うち0 歳児	0人	0人	2人	0人	0人	3人	10人	0人	1人	0人	0人	0人	16人

〈2〉 開所時間

7時00分～20時00分

〈3〉 スタッフ構成 （3月1日時点）

常勤 スタッフ	保育士	5人	看護師	0人	栄養士兼 調理員	1人	事務	0人
パート スタッフ	保育士	2人	補助	2人	調理	0人	事務	0人

3. 運営報告

〈1〉 施設内会議

会議名	実施回数	会議内容
園会議	月1回 ※2,3月は策 定会議にて 実施	・ コンピテンシー ・ 保育の質向上に関わる勉強会 ・ 園内研修 研修報告からの学び 保育の課題の話し合い
給食運営会議	月1回	食育、離乳食、アレルギー食、喫食状況の共有、課題提案
事故防止委員会	月1回	インシデント、ヒヤリハットの分析 自園含む全園でのケース スタディと改善策
ケース会議	0回	該当児童無
保健会議	月1回	感染症、マニュアル確認、感染予防、衛生知識

〈2〉 出席した施設外会議（Web 参加含む）

会議名	実施回数	参加スタッフ
施設長会議 ／法人本部	月1回	施設長
施設長勉強会 ／法人本部	月1回	施設長
食育会議 ／法人本部	年4回 (5.7.11.2月/5.8.11.2月)	施設長 調理スタッフ

保健会議 ／法人本部	年4回 (5.7.11.2月/5.8.11.2月)	施設長
主任会議 ／法人本部	月1回	主任・ミドルリーダー
子育ての質を上げる会議	月1回	保育士

〈3〉 係の設置状況

係名	活動の様子・省察
衛生管理係	園内汚染区域を中心とした衛生管理・感染症情報収集発信
安全対策係	環境・玩具の点検・避難訓練の実施と見直し・環境安全の整備
防火管理者	避難訓練の実施、防災自主点検を用いての管理運営
食品衛生管理係	食品管理・食育計画の立案確認・調理室の衛生管理
畑係	プランター準備、植える種苗の準備、成長・収穫の管理
生き物係	生き物の生育管理

〈4〉 行事係の設置状況

係名	活動の様子・省察
どろんこ祭り係	祭りの保護者サポーターとの打ち合わせ・祭りの立案・仕入
地域交流係	地域支援につながる活動の発信、準備

4. 保育支援

〈1〉 保育・保育参加・保護者面談および発達相談・園児の保護者への支援および意見要望への対応

保育	・保育参加を通して、子どもたちの育ちや、人間関係、保育園での生活の様子、保育者の関わりを見ていただく。普段と同様の姿を見ていただく事は難しいこともあったが、周囲の子どもの活動や連絡帳や3分間のお迎え対応での話から我が子を想像する、家庭でのお子様とのかかわりのヒントになったというご意見を頂いた。また保護者ご自身が思い切り子どもと関わることで良い刺激になり普段の仕
----	---

	事からの解放、リフレッシュになったというご意見を頂いた。
保育参加	4～3月まで 合計 5名が参加済み (3月1日時点)
保護者面談および発達相談	4～3月まで 合計 6名が参加済み (3月1日時点)
運営委員会	運営委員会を6月23日に保育室にて実施し、参加した保護者2名 運営委員会を11月10日に保育室にて実施し、参加した保護者3名 詳細は議事録に記載

〈2〉計画した年間行事の振り返り

- ・別紙「2023年度年間スケジュール」に掲載
- ・保育参加・保護者面談は随時開催

〈3〉給食・食育に関する実践結果

1	計画・ねらい	調理員、保育者、施設長は子どもと一緒に食べる
	実践結果	同じテーブルで調理員、保育者、施設長が子どもと一緒に食すことで、会話が広がる、子どもの喫食状況がよりよくわかる、楽しい時間となった。
	次年度方向性	引き続き、子どもと食卓を囲みながら、家庭的な雰囲気、大きなお家につながり、意欲的に食べることを目標とする。
2	計画・ねらい	子どもたちが自ら選び食す。
	実践結果	好きなものを好きなだけ食べる、苦手なものも少しの量にして味わうことにつながった。たくさん食べたい思いも、おかわりの残りを見ながら他児に聞き、分け合うことにもつながっていた。
	次年度方向性	大人が配るのではなく、自分で運ぶ、選ぶ食事の準備の時間を大切にしていける。
3	計画・ねらい	食に興味をもつ。
	実践結果	「少しでも挑戦する」ことができるように絵本や栄養素の話、畑での収穫物など食への興味が深まるように努めた。
	次年度方向性	食育活動や畑仕事を体験していく中でさらに食への興味につながるようにしていく。

〈4〉保健に関する実施結果

実施項目	詳細
園児健康診断	6月8日／11月20日に実施
歯科検診	6月23日に当園にて実施

保健だより	毎月25日におたより配信を実施
スタッフ健康診断	年1回実施
スタッフ検便	毎月1回（全スタッフ対象）
その他実施した園児への保健指導、又は、取組等	絵本や紙芝居を通して日々の生活の中で、手洗い指導、歯磨き指導、感染症防止につながるうがいの大切さを伝えていった。
流行した感染症	なし
発作・痙攣等の対応	なし
エピペン使用できるスタッフの状況	・4月21日に園会議にてエピペン研修を計1名が新たに受講し習得済み ・本日時点で、在籍スタッフ10名のうち、10名が使用可能
その他保健に関する取組	新型コロナウイルスおよび他ウイルス感染予防のため、うがい指導・手洗い指導を行う。また消毒・換気を徹底する。

〈5〉各種点検

危機管理	設備点検・事故防止チェック	4・7・10・1月の25日に計4回実施済み
	防災自主点検 （備蓄品点検含む）	6・12月の25日に実施済み
	避難消火訓練	毎月1回／15日に計12回実施済み
	不審者侵入訓練	6・12月の25日に実施済み
	情報セキュリティチェック	5月・11月に実施済み
	誤飲・誤嚥防止チェック	4・7・10・1月の25日に計4回実施済み
衛生管理	衛生管理点検表／毎日	毎日実施
	衛生管理点検表／毎週	毎週金曜日実施
	衛生管理点検表／毎月	毎月25日に計12回実施済み
	個人衛生点検簿／毎日	毎日実施
健康管理	予防接種状況・既往歴の確認 ／保険証期限確認	年2回／4・10月 ⇒4月3日、10月1日に実施済み
	身長体重測定	毎月1回／20日 実施済み
	児童健康診断	内科健診 各年2回／6月8日、11月20日

		歯科健診 各年1回/6月23日
運営管理	児童・保護者の人権に関するチェック	年2回/4・10月の園会議時 ⇒4月21日、10月20日に実施済み
	コンピテンシー自己採点	毎月1回/園会議冒頭5分間 実施済み
	利用者アンケート調査	8月25日～9月5日に実施済み

〈6〉実施した環境整備の状況

1	計画・ねらい	子どもが自ら関わり自発的に活動する。
	実践結果	子どもが自分で遊びを選び、遊びこめるように個々の育ち、興味関心を探ることに努めた。
	次年度方向性	友達とのトラブルも経験にはなるが、パーソナルスペースを意識しながら環境づくりを工夫していく、子どもの育ちを見極めて加安協の工夫を重ねていくことが課題となる。
2	計画・ねらい	中庭を整備し最大限に活用する。
	実践結果	職員間で話し合いながら最大限の活用を探っていった。プランターを増やすことで食育、畑仕事の機会を増やし、縁側の代わりの食事スペース等工夫した。
	次年度方向性	さらなる活用法を探しながら、保育環境の一つとなるように努める。
3	計画・ねらい	温かなぬくもり、親しみとくつろぎの場。
	実践結果	整理整頓を心掛けすべての利用者が気持ちよく過ごせるように努めた。
	次年度方向性	部屋の隅、棚の上、行事の前後にもものを一時的に置くなど、危機管理にもつながる事なので、徹底して恒常化に努める。

〈7〉手作り遊具・家具安全点検結果

対象物なし

5. 危機管理（防災・ケガ事故防止・防犯・光化学スモッグ）

1	実践結果	消防計画に則った自衛消防組織を基に避難訓練（毎月1回）・防災自主点検（年2回）・日常点検を実施。
2	実践結果	怪我事故防止の為事故防止チェック（年4回）・設備点検チェック（年6回）を実施。事故防止委員会会議を実施し、園内で起きているヒヤリハットやインシデントの分析を行った（月1回）。怪我発生時には法人の怪我発生時フローチャートに従って行動した。

3	実践結果	不審者侵入訓練（年2回）を実施 全職員笛を携帯し、非常時に備えた。自治体や近隣園からの不審者情報を保護者、本部と共有した。
4	実践結果	光化学スモッグの知識を身に付け、「光化学スモッグ注意報発令配信メール」に登録し、発生時には行政指示に従って対応した。

6. 実習生・中高生の受入

〈1〉今年度の振返り

実習生・中高生の受け入れの実績はなかったが、いつでも受け入れができるように体制を整えていきたい。

〈2〉実習生の受入

今年度該当なし

〈3〉中高生の受入

今年度、該当なし

7. スタッフ研修

〈1〉園内研修の開催

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
コンピテンシー自己採点	21日 11名	26日 11名	16日 11名	21日 11名	25日 11名	15日 11名	20日 11名	17日 10名	22日 11名	19日 10名	21日 10名	22日 11名
園内研修	21日 10名	26日 10名	16日 10名	21日 11名	25日 10名	15日 11名	20日 9名	17日 10名	22日 10名	19日 10名	21日 8名	4日 10名

〈2〉外部研修への出席

日程	主催	研修名	出席	施設長推薦
2月 1日・7日	埼玉県	キャリアアップ研修 乳児保育	1名	有
2月 19日・26日	埼玉県	キャリアアップ研修 保護者支援	1名	有

〈3〉法人支援制度の活用・出席

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
業務改善研修 (子育ての質を上げる会議)	19日 1名	17日 1名	21日 1名	19日 1名	23日 1名	20日 1名	18日 1名	22日 1名	20日 1名	17日 1名	21日 1名	21日 1名
施設長勉強会	19日 1名	17日 1名	21日 1名	19日 1名	23日 1名	20日 1名	18日 1名	22日 1名	20日 1名	17日 1名	21日 1名	21日 1名
全社員研修	9月～10月に動画視聴にて研修を実施（全スタッフ対象）											

〈4〉スタッフ個人別育成計画

施設長が年1回実施するフィードバック面談時に「個人ごとの次期の目標設定と併せて、次期の育成計画を施設長が所定様式を使用して個々に伝えた。半期に一度、中間面談の実施を行い、進捗確認をした。

8. 地域交流

〈1〉今年度方針・テーマの振り返り

「開かれた園」になることを最終目標とし、今年度は発信をすることに努めた。気まぐれ掲示板を引き続き園の前に掲示、立ち止まる方に声をかけさせていただきながら気軽に立ち寄ることのできるルームになるように努めた。また、商店街ツアーや日々の戸外活動を通して「地域の方と交わる」「継続的な関わり」を積極的に行った。

〈2〉実施した地域交流

活動行事	内容
青空保育（保育園主催）	月1回 公園名：外環上部C広場にて
商店街ツアー	週1回 主な行き先：和光市図書館、和光市駅前交番、和光市役所出張所、和光市駅、東京メトロ和光検査区、和光消防署、和光郵便局、玄清会第一デンタルクリニック、すみれ薬局、りそな銀行、武蔵野銀行、丸八青果、鈴木製麺所、水明堂、田中屋菓子舗、いなげや、床屋Rash、美容室ラタント、本町御嶽榛名神社、リトルベア等
世代間交流	ふるさと民家園を訪問
異年齢交流	和光どろんこ保育園との交流

9. 小学校との子ども間交流・職員間交流

該当なし

10. 要支援児

今年度、対象園児なし

11. 子育て支援事業

今年度の子育て支援事業・イベント・子育て相談・青空保育を含む延べ来園者数

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
0名	2名	0名	0名	4名	2名	2名	0名	9名	6名	2名	2名	29名

実施項目	詳細												
園開放	(月)～(土) 9:30～16:30 にて実施												
子育て相談	(月)～(金) 13:00～16:30 ⇒相談実施なし												
自然食堂 親子ランチ 交流	毎週(水) 10:00～12:00 ⇒計12回実施済み 参加者延べ人数												
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
	0名	0名	0名	0名	4名	0名	0名	0名	0名	0名	0名	2名	6名
どろんこ 芸術学校 どろんこ 自然学校	毎週(水) 10:00～12:00 ⇒計12回実施済み 参加者延べ人数												
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
	0名	0名	0名	0名	0名	0名	0名	0名	7名	6名	0名	0名	13名
勝手籠設置	(月)～(土) 7:00～20:00 にて実施 門扉前に無人のフリーマーケットかごを設置												
ちきんえっ ぐだより	毎月1日発行												
青空保育	月1回 公園名：外環上部C広場にて 以下日程にて実施												
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
	0名	2名	0名	0名	0名	0名	0名	2名	0名	2名	0名	2名	8名

12. 園運営の向上

〈1〉福祉サービス第三者評価の受審

今年度受審なし。

〈2〉園による自己評価の実施

2023年6月30日に「内部監査チェック表」を用いて、以下の通り、自己評価を実施済み。

自己評価開始時刻：8時00分

自己評価終了時刻：17時00分

自己評価実施者：施設長、伊藤雄祐

〈3〉利用者アンケートの実施

施設利用 保護者に対し、アンケートを実施

アンケート配布日：8月25日

アンケート回収率：100%

スタッフの挨拶、子どもへの言葉かけ、子育ての相談、ご意見ご相談への対応、お迎え対応等の設問において、満足、又は良いと答えていただく事ができた。また、自由記述では「自分でできることが増えた」「戸外遊びが多く色々な遊びができるので子どもたちが楽しそう」「挨拶が習慣化した」等があった。「安心して通いたい園」、「共に育つ」ことができるように努めていきたい。

13. 苦情解決・ケガのうち報告すべき事項

ご意見ご提案デスク（HP・メール・電話）、口頭・書面・連絡帳・ご意見ご提案ボックスによって寄せられた全ての意見・要望・苦情について、原則、「苦情対応体制」に従い、法人として解決を図る。以下、報告すべきご意見・ケガに関しては次の通りとなる。

〈1〉報告すべきご意見

0件

〈2〉報告すべきケガ（事故含む）

0件

※なお、報告書内の3月度の数値結果に関しては、すべて見込みの数値となっている。

以上

作成日：2024年3月15日

作成者：メリー★ポピンズ 和光ルーム 施設長 高安 百合子